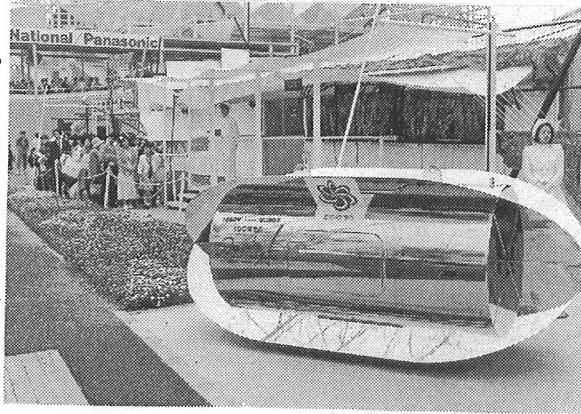


(11) 特集 平成2年(1990年) 6月12日(火曜日)

「100年先のーんびり村」パビリオンには入場券が長い列が途切れない



花博の「のーんびり村」

日韓トンネル計画は、大阪府で開催中の国際花と緑の博覧会(花の万博)にも一役買っている。花と緑と人間生活のかかわりを中心テーマとする花の万博は、二十一世紀に向けて地球の自然環境と新しい都市空間創造の調和をたずねるものでもある。その意味で、国際ハイウェイ構想と日韓トンネルは花博の理念にピッタリといえる。

甲子園球場の二、三六倍の広さをもつ花博会場。南西部にある「街のエリア」は、ハイテク技術の花が咲き誇るパビリオン群のエリア。その一角にある「100年先のーんびり村」で、国際ハイウェイ体験ができるのだ。同パビリオンは、歓声の絶えない遊戯エリア、マジカル

ロボのそばにあり、「せせらぎストリート」を挟んで、ミケラビリオン同様、入場券の長い行列が途切れない。園の庭や住友館と向かい合っている。大阪の中小企業グループ「未来

しよ」と説明があり、暗いタ

国際ハイウェイを体験

日韓トンネルは出発点

来客向け企業グループ(川合イムトンネルを坂とデニメー

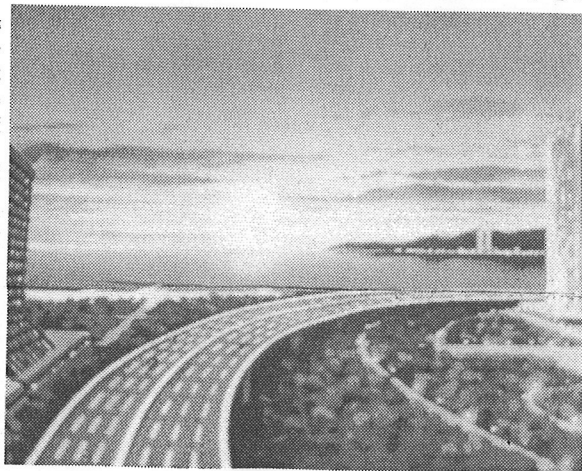
善代表が出席、(財)細川技術協力会日韓トンネル委員

十分間のアニメ映画を見る。映画がタイミンクに描き出すの

「のーんびり村」の外観は、遊技場は、海底トンネルやハイウェイの住居、バスをイメージしたで二つに結ばれた世界。「交通

の目覚ましいスピードアップのおかげで、のーんびりと暮らせる百年後の社会」というわけである。

この国際ハイウェイのアニメ映画は、映像もなかなか立体的で、東京からロンドンまでのハイウェイドライブが軽快な音楽とナレーションに乗って展開される。日韓トンネルは、この夢あふれるライブ旅行の冒頭を



「100年先のーんびり村」で上映されている国際ハイウェイのアニメーション

日韓トンネルに決して決して、遠い夢物語ではないと実感させられる。また、同パビリオンの正面に

は日韓トンネルといえよう。未来体験の起点

は、車ロケットのようなカプセルが、これは百年後の二〇九〇年に開封するといふタイムカプセル。パビリオン内の「百年先」に手紙が、郵便局に手紙を出せば、このタイムカプセルに収納して百年後のまた見ゆ子孫に届けられるといふもので、カプセルは「アジアハイウェイ」の日本側起点に埋設されることになっている。